

よ かんが  
【読む×考える】

じだいげき  
39 時代劇

かいとうれい かいとう  
解答例／解答のポイント

LEVEL 1

かいとう  
解答

a:○ b:× c:× d:○

LEVEL 2

かいとうれい  
解答例

げんぞう ようじんぼう つか ぶりよく えいいちろう お ほん えいいちろう まった ぼうりよく  
源蔵は、用心棒たちを使って武力で鋭一郎を追い払おうとしましたが、鋭一郎は全く暴力  
をつか  
を使わず、ひたすら「かんざしを返してもらいます」と強く言い続けたからです。源蔵は、鋭  
いちろう つよ ねつし ま  
一郎の強い熱意に負けて、かんざしを返したと考えられます。

かいとう  
解答のポイント

- えいいちろう けん たつじん ぼうりよく つか  
鋭一郎は、剣の達人でありながら暴力を使いません。これは、源蔵が普段接している  
かんが ちから しはい まぎやく  
と考えられる力による支配とは真逆です。
- げんぞう かい えい  
源蔵は「わかった。そこまで言うのなら、かんざしは返す」と言っており、これは鋭  
いちろう ひぼうりよくてき しせい けつ ねつし きて  
一郎の非暴力的な姿勢と、決してあきらめない熱意が決め手になったことを示してい  
ます。

LEVEL 3

かいとうれい  
解答例

げんぞう ゆき たい す き も も ゆき かのうせい  
源蔵は、お雪に対して好きな気持ちを持っていて、お雪にかんざしをあげた可能性が  
あります。でもお雪が源蔵に心を開かないので、源蔵は怒ってかんざしを奪ったのか  
もしれません。

かいとう  
解答のポイント

- こうさつ じゆう ものがたり てんかい びようしゃ ないよう たいせつ  
考察は自由ですが、物語の展開や描写とつながる内容であることが大切です。
- げんぞう えいいちろう たい おれ ゆき まえ かんけい  
源蔵が鋭一郎に対して「あのかんざしは、俺とお雪の…。いや、お前には関係な  
いっしゅん なに いみ  
い！」と、一瞬、かんざしに何か意味があるようなことを言いかけています。ここか  
ら、かんざしには源蔵とお雪にとって何か意味があるものであると推測することができます。